

日本光学会第 190 回幹事会議事録

日 時：2010 年 5 月 11 日(火) 13:30~16:45

場 所：応用物理学会会議室

参加者：武田幹事長，他 30 名

議 事：

1. 第 3 回常任幹事会議事録の確認

- ・第 3 回常任幹事会議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・Vol. 39 以降の出版費用が報告された。
- ・進展号については執筆者を集めることが難しくなっており、当面の間日本光学会で活動中の 14 の研究グループに執筆を依頼すると説明された。

(2) 「光学」編集委員会開催回数増について

- ・平成 21 年度の編集委員会をこれまでの年 6 回から年 4 回に減らしたところ、会議時間が長くなるなど問題が出たため、22 年度は年 6 回開催にもどすと報告された。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載論文数についての説明がなされた。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・OR ウェブアクセスは順調に増加していると報告された。

2-3. 講演会関連報告

(1) カラーフォーラム JAPAN 2010 進捗報告

- ・2009 年度カラーフォーラムについては、会計報告済みであることが報告された。
- ・2010 年度の開催については、休止を視野に検討が必要との意見が出された。

(2) 第 35 回光学シンポジウム (2010. 7/8-9) 進捗報告

- ・プログラムが確定した (招待講演 8 件，一般講演 19 件) と報告された。
- ・開催案内ポスターの掲示の依頼があった。

(3) Optics & Photonics Japan 2010 進捗報告

- ・会場および日時が決定したとの報告があった (11/8-10, 中央大学)。
- ・OPJ ベストプレゼンテーション賞受賞候補者募集要項について説明がなされた。詳細は OPJ 2010 ホームページに掲載するとの報告がなされた。
- ・OPJ 開催地について、来年以降の会場選考を早めに行う方針であることが説明された。

(4) 平成 21 年度北陸信越地区講演会 (2010. 3/15) 結果報告

- ・30 名の参加があったとの報告があった。
- ・次回は新潟で 11 月に開催し，それ以降は北陸・信越で持ち回り開催とする，と報告された。

(5) 第 5 回光応用新産業創出フォーラム (2010. 2/26) 結果報告

- ・参加者 80 名であったことが報告された。
- ・第 6 回フォーラムは来年 2 月開催予定との連絡があった。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・協賛承認済み 4 件，共催承認済み 2 件との報告がなされた。

(2) 会員動静について (500 人会員増計画)

- ・3 月から 4 月にかけて微減していることが報告された。
- ・今後も会員周辺で声かけをして，会員増を図りたいとの意見が出された。

(3) 収支計算書について

- ・日本光学会会計報告がなされた。

(4) 日本光学会ホームページについて

- ・アクセス数は通常通りの推移になっており，アクセスベスト 10 に変動はなかったことが報告された。
- ・更新情報の紹介 (幹事長の挨拶等) がなされた。
- ・バナー広告はクリック数が減少しているとの報告があった。

(5) 平成 22 年度年間計画，幹事役職について

- ・11 月の北陸信越地区講演会 (仮称) をスケジュールに追加した。
- ・東北，中国四国，九州については，イベント開催のスケジュールを今後検討すると連絡があった。

(6) 日本光学会規約について

- ・規約についてはホームページに記載してあるので，必要に応じて確認してほしいと連絡があった。
- ・国際協力奨励金についての説明がなされた。

- ・分科会研究グループ略称について，「日本光学会 (応用物理学会) (光設計研究 G)」とする旨応用物理学会より連絡があった。〔注：後日，応用物理学会理事会への確認により，以下の記載に修正された。〔日本光学会 (応用物理学会) 光設計研究 G〕〕

(7) 会計手順説明

- ・平成 22 年度版の会計処理手順が説明された。

3. 審議事項

(1) 光学論文賞選考委員長について

- ・光学論文賞規定 11 条に基づき，選考委員長が任命され

可決された。

(2) 光学論文賞募集要項について

- ・光学論文賞規定に基づいて選考を行うとの報告があった。
- ・応募書類は電子化 (PDF) にし、Eメールに添付し日本光学会庶務幹事に提出することが承認された。

(3) 奨励賞選考委員について

- ・選考委員が提案され、承認された。
- ・日本光学会奨励賞規定に基づいて表彰されることが確認された。

(4) 幹事選挙について

- ・役員選挙その他に関する内規に基づき、幹事選挙には自薦および他薦 (ただし本人の承諾が必要) により立候補できると説明があった。
- ・幹事および常任幹事は、それぞれ半数以上が日本光学会会員である必要があるとの説明がなされた。

(5) 韓国光学会などとの連携について

- ・韓国光学会との合同セッションについて、現在話し合いが進行中との報告がなされた。
- ・OSA, SPIE との連携について、手続きを進めることが報告された。

(6) OPJ 投稿用ホームページについて

- ・OPJ の投稿サイトの英語バージョンができないかを検討してほしいとの要望があり、OPJ 実行委員長のほうで検討することになった、と報告された。

4. その他

(1) 特定費用準備資金使用計画提案の依頼について

- ・2件申請あり (国際会議, 光学会 60 周年記念事業)。
- ・日本光学会 60 周年記念事業については、これまでの論文等のデジタルアーカイブ化を行うことを検討中であることが説明された。

(2) 著作権取扱規定について

- ・日本光学会で出される著作物について、応用物理学会が著作権をもつことが連絡された。
- ・過去の著作物については、別途確認することが連絡された。

平成 22 年度第 1 回常任幹事会

2010年7月13日(火)に、応用物理学会会議室(九段下)において開催されました。第190回幹事会議事録の確認、「光学」編集報告、「OPTICAL REVIEW」関連報告、第35回光学シンポジウム(2010.7/8-9)結果報告、Optics & Photonics Japan 2010 進捗報告、第6回光応用新産業創出フォーラム進捗報告、第37回冬期講習会進捗報告、光学五学会関西支部連合講演会進捗報告がなされました。ま

た、協賛依頼、会員動静、収支計算書、日本光学会ホームページ報告、光学論文賞選考委員会報告、奨励賞選考結果報告、国際協力支援金申請、光みらい奨励金募集要項、日本光学会出版物の著作権の応用物理学会移管について審議および報告がなされました。詳しい幹事会議事録は第39巻第11号に掲載予定です。

第 250 回「光学」編集委員会

2010年7月16日(金)に応用物理学会会議室(九段下)において開催されました。今回は最初に第40巻第4号「日本光学界の研究動向」の企画内容について、前回編集委員会以降の検討経緯を踏まえた議論を行い、企画を決定しました。従来と異なる形態となるため、企画・趣旨説明を含む執筆依頼書、テンプレートの準備なども進めることになりました。続けて、第40巻第5~7号の企画決定、第40巻第8,9号の第二次構想案、第40巻第10号の第一次構想案の審議、一部担当者の入れ替えを含めた第40巻第11,12号の号担当の決定が行われました。さらに、書評進捗状況についての報告、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計等の報告がなされました。書評については新刊情報の提供を出版社に依頼する試みを行うことにいたしました。また、著作権に関する光学会幹事会の審議内容が報告され、今後の対応について議論されました。

Optics & Photonics Japan 2010

期 日：2010年11月8日(月)~11月10日(水)

場 所：中央大学駿河台記念館(東京都千代田区神田駿河台3-11-5, <http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/kinenkan/>)

主 催：日本光学会

問合せ先：Optics & Photonics Japan 2010 事務局

〒164-0003 東京都中野区東中野4-27-37 (株)アドスリー内 電話 03-5925-2840 Fax 03-5925-2913

詳細は第39巻第6号の綴じ込み案内、またはホームページ(<http://www.opt-j.com/opj2010/>)をご覧ください。

第 117 回微小光学研究会

テーマ：蘇るコヒーレント光通信と微小光学

日 時：2010年10月5日(火) 10:00~17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス ロイヤルブルーホール(蔵前会館(TTF)1階)

<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/index.html>

交 通：東急目黒線・大井町線大岡山駅前

主 催：日本光学会微小光学研究グループ

プログラム：(1)「特別講演：コヒーレント光通信一過

去, 現在, そして未来—」菊池和朗 (東京大), (2) 「100 Gbps 伝送に向けたデジタルコヒーレント送受信技術」杉原隆嗣 (三菱電機), (3) 「高速多値光変調技術」川西哲也 (NICT), (4) 「特別講演: エクサビット情報社会に向けて飛躍する革新的な光通信技術」中沢正隆 (東北大), (5) 「OFDM を用いた高周波数利用効率伝送」森田逸郎 (KDDI 研), (6) 「狭線幅・省電力波長可変レーザー」山崎裕幸 (NEC), (7) 「ECOC 2010 速報」中島啓幾 (早稲田大), (8) 「コヒーレント伝送用 PLC 型光部品技術」高橋 浩 (NTT フォトニクス研), (9) 「準均一マルチコアファイバー」竹永勝宏 (フジクラ)

参加費: 一般 4,000 円, 学生 1,000 円 (資料代含む, 当日ご持参ください)

参加申込: 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先: 小澤章一 (古河電工)

電話 0436-42-1633 Fax 0436-42-9334

E-mail: s-ozawa@ho.furukawa.co.jp

URL: <http://www.comemoc.com/>

「光学素子加工技術入門」技術講座

日 時: 2010 年 10 月 6 日(水) 10:00~18:00

10月7日(木), 8日(金) 9:30~17:30

場 所: 機械振興会館別館 4 階研修室 (東京都港区芝公園 3-5-22)

主 催: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会

参加費: 1 名につき, 一般 102,900 円, 正会員 67,200 円, 賛助会員 81,900 円, 協賛 92,400 円

定 員: 30 名

申込期限: 2010 年 9 月 29 日(水)

問合せ先: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp URL: <http://www.joem.or.jp>

「波動光学の基礎」技術講座

日 時: 2010 年 10 月 20 日(水), 21 日(木) 10:00~17:00

場 所: 機械振興会館別館 4 階研修室 (東京都港区芝公園 3-5-22)

主 催: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会

参加費: 1 名につき, 一般 68,250 円, 正会員 45,120 円, 賛助会員 54,600 円, 協賛 60,900 円

定 員: 24 名

申込期限: 2010 年 10 月 13 日(水)

問合せ先: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp URL: <http://www.joem.or.jp>

「ズームレンズ設計法」技術講座

日 時: 2010 年 11 月 17 日(水), 18 日(木) 10:00~17:00

場 所: 機械振興会館別館 4 階研修室 (東京都港区芝公園 3-5-22)

主 催: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会

参加費: 1 名につき, 一般 68,250 円, 正会員 45,120 円, 賛助会員 54,600 円, 協賛 60,900 円

定 員: 30 名

申込期限: 2010 年 11 月 10 日(水)

問合せ先: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp URL: <http://www.joem.or.jp>

「光学薄膜技術—光学薄膜技術の基礎~応用コース—」講座

日 時: 2010 年 12 月 2 日(木), 3 日(金) 9:00~17:00

場 所: 機械振興会館別館 4 階研修室 (東京都港区芝公園 3-5-22)

主 催: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会

参加費: 1 名につき, 一般 87,150 円, 正会員 56,700 円, 賛助会員 69,300 円, 協賛 77,700 円

定 員: 24 名

申込期限: 2010 年 11 月 25 日(木)

問合せ先: (社) 日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp URL: <http://www.joem.or.jp>

金沢大学理工研究域機械工学系教員公募

公募人員: 准教授 1 名

所 属: 理工研究域機械工学系

(URL: <http://www.hm.t.kanazawa-u.ac.jp/me/lab/06.html>)

専門分野: 光応用計測, レーザ応用技術, これらに関連する分野.

教育担当: 理工学域機械工学類, 大学院自然科学研究科 博士前期課程機能機械科学専攻, 大学院自然科学研究

科博士後期課程システム創成科学専攻.

担当科目：学類では上記の専門分野に関する科目ならびに物理学の授業および実験等，大学院では上記の専門分野に関する科目等.

応募資格：博士の学位を有すること。研究，教育に実績と熱意を有し男女共同参画への理解と産学連携等への積極性がある方.

着任時期：2011年4月1日

提出書類：(1) 履歴書 (写真貼付，現住所，連絡先〔電話番号，電子メールアドレス〕，学歴，研究歴，職歴，所属学会，賞罰). (2) 研究業績 (学位論文，査読付原著論文，国際会議プロシーディングス，総説・解説，著書，特許等に分類し，共著者名 (全員掲載順)，発表機関・巻 (号)・最初と最後のページ・発表年 (西暦) を記述したもの). (3) 主要論文の別刷5編程度 (コピー可). (4) 学会および社会における活動.

(5) 科学研究費補助金，共同研究，受託研究などの競争的研究資金の獲得状況. (6) これまでの研究活動とその成果 (A4用紙1000字程度). (7) 教育・研究に対する抱負 (A4用紙1000字程度). (8) 応募者について意見を伺える方2名 (氏名，所属，職名，連絡先).

応募締切：2010年10月29日 (金) 必着

選考方法：書類審査および面接 (プレゼンテーションを含む) の2段階選考.

書類提出先：〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域機械工学系 教授 細川 晃

問合せ先：〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域機械工学系 教授 安達正明

電話 076-234-4922 E-mail: adachi@t.kanazawa-u.ac.jp

その他：応募書類は簡易書留にて封筒表面に「教員公募書類」と朱書きの上，郵送してください。提出書類は原則として返却しません.

日本光学会 news の掲載申込先：

〒305-8568 つくば市梅園 1-1-1 中央第2 (独)産業技術総合研究所 光技術研究部門

森 雅彦 電話 029-861-5623 Fax 029-861-5627 E-mail: m.mori@aist.go.jp

なお，掲載申込は原則として発行日 (10日) から2か月前の15日まで，開催日が1~10日の場合は，開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては，「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

日本光学会平成22年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	武田 光夫* (電通大)	
副幹事長：	加藤 純一* (理研)	谷田 純* (阪大)
前幹事長：	谷田貝豊彦 (宇都宮大)	
庶務幹事：	佐々木雄三* (NTTアドバンステクノロジー)	橋本 信幸* (シチズンホールディングス)
	向井 香織* (ニコン)	森 雅彦* (産総研)
	上窪 淳二* (HOYA)	駒井 友紀* (日本女子大)
	松田 二郎* (富士ゼロックス)	宮武 直樹* (リコー)
『光学』編集幹事：	相津 佳永* (室蘭工大)	鈴木 裕之 (東工大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	中楯 末三* (東京工芸大)
国際協力幹事：	西村 吾朗 (北大)	成瀬 誠 (情報通信研究機構)
産学協力幹事：	石樽 崇明 (慶應義塾大)	長嶋 千恵 (豊田中研)
将来問題担当幹事：	佐藤 学 (山形大)	駒井 友紀 (日本女子大)
電子化担当幹事：	松坂 慶二 (コニカミノルタオプト)	田中 哲 (防衛大)
事業・企画担当幹事：	岡野 英明 (東芝)	杉浦 忠男 (奈良先端大)
	忠永 修 (NTT)	辻 俊彦 (キヤノン)
	豊田 光紀 (東北大)	庭山 雅嗣 (静岡大)
	南 功治 (シャープ)	山本 裕紹 (徳島大)
	湯浅 友典 (室蘭工大)	吉澤 達也 (金沢工大)
	粟辻 安浩 (京都工芸繊維大)	大平 泰生 (新潟大)
	岸本 康 (凸版印刷)	小灘 毅 (オリンパス)
	小西 直樹 (九州工大)	式井 慎一 (パナソニック)
	中嶋 芳雄 (富山大)	中野 貴敬 (三菱電機)
	日坂 真樹 (大阪電通大)	尾藤 洋一 (産総研)
